

## 横浜 61 団カブスカウト環境出前学習の実施報告

KECA 環境教育委員会

実施日：平成 22 年 5 月 23 日（日）9:30～11:35

学習者：横浜 61 団カブスカウト（小学 2 年生～4 年生）17 名

場所：横浜市瀬谷区瀬の森地区

実施形態：予定では室内と父兄が見学する野外で実施する予定であったが、雨天のため瀬谷区中屋敷地区センターの室内でのみ学習をすることになった。

講師：かながわ環境カウンセラー協議会（KECA） 嶋田和夫、岡本正義

### 学習プログラム

学習テーマ：「私たちの暮らしと水」

学習目標：水の大切さに気付き、水を大事に使う行動に結びつける

- ①私たちが使える水は、非常に少ないが、一方で、私たちは非常にたくさんの水を使っていることに気付く
- ②水は自然と社会で循環して、いろいろなところで使われている大事なものであることに気付く
- ③水はちょっとしたことで汚れることに気付く

### プログラム展開

9:30～10:25

- ①アイスブレイク
- ②地球にある水は？（クイズ）  
海水と淡水（しょっぱくない水）  
私たちが使える水、飲み水は？
- ③一日に一人が使う水の量は？（クイズ）  
暮らしの中で使う水は？  
日本とアフリカ（ケニア）を比べて見る
- ④飲み水はどこから？使った水はどこへ行くのでしょうか？：カードゲーム  
水は自然界で循環している  
いろいろなところで水を使っている

10:25～10:35

休憩

10:35～11:35

- ⑤汚れた水はどれですか？（見える汚れと見えない汚れを調べる）：実験  
泥で汚れた手を洗いましょう  
チラシが入った水にブラックライトを当てるとどうなるか？
- ⑥汚れをきれいにしよう：実験  
全員で実験  
・凝集沈殿剤による泥水の浄化
- ⑦まとめと振り返り  
今日、学習したことで分かったことは？感想は？

## 実施結果

1. 各グループは学年を混合して、3グループに分かれて学習をした。
2. カードと実験を主体にして、クイズをまじえ、子どもたちが参画するプログラムで学習を進めたので、子どもたちは飽きることなく、集中して、楽しく学んでいた。
3. 特に泥水に凝集沈殿剤を入れて、一瞬のうちに水をきれいにする実験は、子どもたちはびっくりし、記憶に残る学習であった。
4. ワークシートでまとめを行い、感想を書いて貰った。各ワークシートにコメントを書き、子どもたちに返却した。
5. まとめ発表とワークシートからは、水はいろいろな所で使われており、生き物にとっても大切なものであり、無駄にしてはいけないと気付いた子どももいて、学習目標はそれなりに達成できたと思う。（全員が気付いたと言わなければならない）
6. 普段のスカウト活動とは違った活動であり、子どもたちには新鮮なものと感じたようであると、依頼者から講評を頂いた。
7. 学習終了後、瀬の森でバーベキュー大会を実施し、嶋田カウンセラーが参加させて頂き、子どもたちとのコミュニケーションを楽しんだ。

## 瀬の森出前学習スナップ写真（H22年5月23日（日））



いつものスカウトの活動とチョット違う。  
緊張して授業が始まりました。



地球上にはしょっぱくない水はどのくらいあるのかな？  
クイズで考えます。



泥水をきれいにする実験です。  
魔法の薬をペットボトルに慎重に入れています。  
この後、ペットボトルを勢いよく振ると泥水は一瞬のうちに透明になります。

（財）日本環境協会のプログラムを一部転用しました